

令和5年度水産加工業等販路回復取組支援事業（4次） 採択結果

復興水産加工業販路回復促進センター

所在地		事業者	取組概要
宮城県	石巻市	株式会社マルカ高橋水産	包装までの時間の短縮、封味効果の向上、増産のため、ブラストチラーを導入する。このことより、衛生管理面での強化ができ、引き合いに応じられる生産体制を構築でき、販路回復、売上回復に努める。
		①石森水産	冷却水循環装置及び貯水槽を導入し、水揚げが増えているカレイ、ヒラメ、カニ等の魚種を中心に取扱いを増やし、夏場においても活きの良い活魚出荷、鮮魚出荷、鮮魚加工が行える設備を整え、販路の拡大を図る。
茨城県	北茨城市	川崎水産有限会社	アレルギー物質、その他異物の混入防止を徹底するため、選別機能を有する異物取り型対応煮沸釜を導入し、選別能力を向上させるとともに、顧客のニーズに合った高品質の製品の増産を行い、大手取引先の販売網で販売し売上回復を図る。
		株式会社カネト	選別精度を向上させ、さらに増産体制を構築するため、原魚選別投入コンベア及び製品選別ラインを導入した。このことにより、製品の品質安定が向上し、さらに生産工程の機械化により現状の人員でも増産が可能になることから、より積極的な営業を行うことが可能となり、売上回復に努める。
千葉県	銚子市	有限会社明石水産	市場から依頼されているフィレ等の製造を拡大するため、人員を増やさなくても増産が可能な三枚卸機を導入する。また、サバ以外にホッケ等も加工可能であり、顧客の要望があれば国産及び輸入原料等多魚種を加工し、販路回復を図る。

※本事業は、復興水産加工業等販路回復促進事業実施要綱（平成23年11月21日付け23水漁第1445号農林水産事務次官依命通知）に基づき実施する国庫補助事業です。